

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	新潟ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	医療秘書・事務学科	夜・通信	1,250 時間	160 時間 (2 年制)	
	調剤薬局・登録販売者学科	夜・通信	1,392 時間	160 時間 (2 年制)	
	販売スペシャリスト学科	夜・通信	1,068 時間	160 時間 (2 年制)	
	オフィスビジネス学科	夜・通信	895 時間	160 時間 (2 年制)	
	ビジネス秘書・事務学科	夜・通信	766 時間	160 時間 (2 年制)	
	イベントビジネス学科	夜・通信	732 時間	160 時間 (2 年制)	
	事業創造学科	夜・通信	933 時間	160 時間 (2 年制)	
	医療事務学科	夜・通信	764 時間	80 時間 (1 年制)	
	ビジネスライセンス学科	夜・通信	578 時間	80 時間 (1 年制)	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新潟ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	団体職員	2019年6月1日～ 2023年5月31日	政策的観点
非常勤	会社役員	2019年6月1日～ 2023年5月31日	教育統括的観点
非常勤	大学教授	2019年6月1日～ 2023年5月31日	教育統括的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新潟ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校におけるシラバスとは学生が授業科目の内容や概要、計画などを理解し準備学習等を進めるための基本となるものであると考える。つまり、学生が何を目的とし、何をいつ学んでいくのかを示すとともに、何を身につけるのかという学習への動機づけにつながるものである。そのため、「学生の目線に立ってわかりやすい記述」でなければならない。また、シラバスを公表することで、本校の教育内容の詳細を本校のステークホルダーが把握するための資料となる。さらには授業担当教員が他の授業科目のシラバスを参考にすることで、自らの授業内容への改善につながることも期待できる。</p> <p>シラバスは各授業担当者が決定し次第、作成に取りかかるものとし、前年度の3月初旬に提出および、3月末には本校のホームページ内にて公表を行っている。</p> <p>様式には以下の点を共通記載項目とし、作成者によるバラつきが生じないように標準化を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業科目の基本情報(科目名、必修・選択、授業時間総数)、対象学科・学年)</li> <li>② 担当教員(実務経験の有無と職種、業務内容)</li> <li>③ 授業概要</li> <li>④ 到達目標</li> <li>⑤ 成績評価方法・基準</li> <li>⑥ 資料教材・教具</li> <li>⑦ 授業にあたっての留意点</li> <li>⑧ その他</li> </ol> <p>本校は学科が多様化していることから、様式に沿っての記載が難しい場合がある、そのため留意点やその他といった項目に記載して補うこととする。</p>	
授業計画書の公表方法	NBC 新潟ビジネス専門学校ホームページに掲載 URL: <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。</li> <li>検定関連科目は、特に検定結果を重視して評価する。</li> <li>検定のない科目は、科目終了時の評価（試験・レポート）を重視してする。</li> <li>検定結果によらない科目または検定取得状況以外の評価については、100点満点換算で次の基準を目安とする。 A (100～80) B (79～70) C (69～60) D (59～0)</li> <li>出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、前項の評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。</li> </ul>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。</li> <li>成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。</li> <li>成績評価の記載方法は以下の通りとなる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 成績評価はA、B、C、Dの4段階とする。</li> <li>b. GPA（成績評価平均値）とは、A=4、B=3、C=2、D=1とし、この数字に科目ごとの単位数を乗じたものを合計して総単位で除したものとする。</li> <li>c. 単位の換算は、(1)講義及び演習については16時間(2)実験、実習及び実技については32時間で一単位とする。</li> </ul> </li> <li>前期、後期の各成績評価に算出されたGPAを基に、成績分布図を作成し、状況の把握と学生指導に活用する。また、GPAが下位4分の1にある場合と、年間出席率が80%以下となった場合には学校長から警告を与える。</li> </ul>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>NBC 新潟ビジネス専門学校ホームページに掲載 URL: <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a> ⇒4. 進級卒業基準および成績評価規定 ⇒5. 成績評価 ①算出方法 参照</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、以下に示す能力を身につけ、各学科所定の期間在籍し、学科の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <p><b>【身につける能力】</b></p> <p>① 各学科が目指す業界・職種において即戦力となる資格・技能・知識  ② 社会で求められるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力  ③ 社会人としての常識とマナーを理解し実践できる力  ④ 心身ともに健全であるための自己管理能力  ⑤ 公共心と公德心をもち、社会のために行動できる力</p> <p><b>【卒業条件】</b></p> <p>① 卒業年次の出席率 90%以上  ② 成績評価が全科目 C 以上  ③ 卒業に必要な検定に合格  ④ 卒業に必要な CFP ポイントの取得</p> <p>・卒業に必要な検定は、学科ごとに定めるものとする。(学生の手引きに明記し、学生全員に配布・説明をおこなっている。)</p> <p>・CFP ポイントとは、カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの略称で、本校の教育方針のひとつでもある「すぐれた技能・知識の習得」「人間力の向上」の実現を目指し、各種行事・活動・イベントの参加およびボランティア活動を通じて、社会性を身に付け、公共心、公德心を養うことを目的としたプログラムである。これら各活動に参加することでポイントが付与される。</p>	
<p>卒業の認定に関する  方針の公表方法</p>	<p>NBC 新潟ビジネス専門学校ホームページに掲載  URL: <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	新潟ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	自校ホームページに掲載 URL: <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a>
収支計算書又は損益計算書	自校ホームページに掲載 URL: <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a>
財産目録	自校ホームページに掲載 URL: <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a>
事業報告書	自校ホームページに掲載 URL: <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a>
監事による監査報告（書）	自校ホームページに掲載 URL: <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業事務		商業実務専門課程	医療秘書・事務学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,720単位時間	1,004 単位 時間	265 単位 時間	451 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間
			1,720単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		103人	0人	4人	6人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科は、各種医療機関において活躍できる医療秘書・医療事務員を育成することを目的とする。そのために医療秘書検定・医療事務管理士試験の学習を通して医療秘書・医療事務員としての専門知識の習得を図るとともに、医療機関で用いられるコンピュータの操作技術を習得する。また、病医院接遇実習・病院実習を通して現場に即した患者応対・患者補助の知識を学ぶとともに、豊かな人間性と協調性を身に付ける。</p> <p>この目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p>

医療秘書・事務学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
成績評価の基準・方法 (概要) ・成績評価は原則として科目毎に前期末(9月)、後期末(2月)の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験(または追試課題)を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準 (概要) 【卒業条件】 ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得  【進級条件】 ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得
学修支援等 (概要) クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。 ①本人への電話連絡 ②保護者との連携 ③三者面談 ④家庭訪問 ⑤スクールカウンセラー

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
59人 (100%)	0人 (0%)	58人 (98.3%)	1人 (1.7%)

(主な就職、業界等) 医療機関、歯科医院、調剤薬局
(就職指導内容) ○就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ○校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ○全校生対象に就職活動出陣式の実施。 ○学科別就職活動強化合宿の実施。 ○全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施。
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務技能管理士認定試験 医科 56名 1年次取得率100% 医療秘書技能検定試験1級 4名 電子カルテ実技検定試験 57名 2年次取得率96.6%
(備考) (任意記載事項) 医療秘書技能検定試験1級 合格者全国占有率No.1

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
115人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	調剤薬局・登録販売者学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,842 単位時間	805 単位 時間	50 単位 時間	987 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間
			1,842 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		18人	0人	2人	5人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>本学科の目的は「登録販売者試験を通して主にドラッグストアや調剤薬局での業務に必要な知識を身につけ、また現場対しての理解と豊かな人間性、協調性を身につけること」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>調剤薬局・登録販売者学科 シラバス一覧  <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a></p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。</li> <li>・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。</li> <li>・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。</li> <li>・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。</li> </ul>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 卒業年次の出席率90%以上</li> <li>② 成績評価が全科目C以上</li> <li>③ 卒業に必要な検定に合格</li> <li>④ 卒業に必要なCFPポイントの取得</li> </ol> <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 1年次の出席率90%以上</li> <li>② 成績評価が全科目C以上</li> <li>③ 進級に必要なCFPポイントの取得</li> </ol>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①本人への電話連絡</li> <li>②保護者との連携</li> <li>③三者面談</li> <li>④家庭訪問</li> <li>⑤スクールカウンセラー</li> </ol>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	11人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ドラッグストア、調剤薬局 など			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。</li> <li>・校内全職員による、項目別弱点強化指導。</li> <li>・全校生対象に就職活動出陣式の実施。</li> <li>・学科別就職活動強化合宿の実施。</li> <li>・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施</li> </ul>			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録販売者試験 合格率 88.9%</li> <li>・全経 簿記検定3級 合格率 100%</li> <li>・サービス接客検定3級 合格率 100%</li> <li>・POP 広告クリエイター技能審査試験 合格率 100%</li> </ul>			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学0名のため記載なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	販売スペシャリスト学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,788 単位時間	883 単位時間	242 単位時間	663 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,788 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		44人	0人	2人	9人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>本学科の目的は「流通業界で唯一の公的士格であるリテールマーケティング検定への合格と、小売業、サービス業の現場で役立つ各種スキルの習得」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>販売スペシャリスト学科 シラバス一覧  <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a></p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は原則として科目毎に前期末(9月)、後期末(2月)の時点でそれぞれ1回の評価を行う。</li> <li>・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。</li> <li>・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。</li> <li>・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験(または追試課題)を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。</li> </ul>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>【卒業条件】</p> <p>① 卒業年次の出席率 90%以上</p> <p>② 成績評価が全科目 C 以上</p> <p>③ 卒業に必要な検定に合格</p> <p>④ 卒業に必要な CFP ポイントの取得</p> <p>【進級条件】</p> <p>① 1 年次の出席率 90%以上</p> <p>② 成績評価が全科目 C 以上</p> <p>③ 進級に必要な CFP ポイントの取得</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡</p> <p>②保護者との連携</p> <p>③三者面談</p> <p>④家庭訪問</p> <p>⑤スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19 人 (100%)	0 人 ( 0%)	19 人 ( 100%)	0 人 ( 0%)
(主な就職、業界等) 小売業、ホテル業、各種サービス業 など			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。</li> <li>・校内全職員による、項目別弱点強化指導。</li> <li>・全校生対象に就職活動出陣式の実施。</li> <li>・学科別就職活動強化合宿の実施。</li> <li>・全校保護者対象に就職指導體制説明会の実施</li> </ul>			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リテールマーケティング検定 3 級合格率 92.3%</li> <li>・リテールマーケティング検定 2 級合格率 100%</li> <li>・全経 簿記検定 3 級 合格率 95.7%      ・サービス接客検定 3 級 合格率 81.5%</li> <li>・色彩検定 3 級 合格率 90.0%</li> </ul>			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学0名のため記載なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	オフィスビジネス学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,736 単位時間	951 単位時間	146 単位時間	639 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,736 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		22人	0人	6人	1人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本学科の目的は「ソフト活用を主目的として、office ソフトの活用はもちろんのこと、最新の IT 技術の業務への導入を推進できる人材を育成している。また、社会人基礎力としてのコミュニケーション力・協調力・実行力を養うために、グループワークや各種ボランティアを取り入れている」。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。 なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。  オフィスビジネス学科 シラバス一覧 <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a>

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は原則として科目毎に前期末(9月)、後期末(2月)の時点でそれぞれ1回の評価を行う。</li> <li>・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。</li> <li>・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。</li> <li>・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験(または追試課題)を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。</li> </ul>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 卒業年次の出席率90%以上</li> <li>② 成績評価が全科目C以上</li> <li>③ 卒業に必要な検定に合格</li> <li>④ 卒業に必要なCFPポイントの取得</li> </ol> <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 1年次の出席率90%以上</li> <li>② 成績評価が全科目C以上</li> <li>③ 進級に必要なCFPポイントの取得</li> </ol>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①本人への電話連絡</li> <li>②保護者との連携</li> <li>③三者面談</li> <li>④家庭訪問</li> <li>⑤スクールカウンセラー</li> </ol>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (%)	7人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) IT業、卸売業、商社、サービス業 など			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。</li> <li>・校内全職員による、項目別弱点強化指導。</li> <li>・全校生対象に就職活動出陣式の実施。</li> <li>・学科別就職活動強化合宿の実施。</li> <li>・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施</li> </ul>			

(主な学修成果(資格・検定等))	
情報処理技能検定3級合格率 85.7%	WEBクリエイター能力試験スタンダード合格率 100%
MOS Word2013 合格率 100%	MOS Excel2013 Exprt1 合格率 100%
MOS Excel2013 Exprt2 合格率 85.7%	MOS PowerPoint2013 合格率 100%
(備考) (任意記載事項)	

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ビジネス秘書・事務学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,736 単位時間	1,023 単位時間	143 単位時間	570 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
	夜間		1,736 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		42人	0人	6人	0人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
本学科の目的は「秘書・接遇マナー習得を主目的として、簿記会計、税務などの知識を習得し、事務処理能力を備えた人材を育成している。また、秘書・接遇マナーに加えて、社会人基礎力としてのコミュニケーション力・協調力・実行力を養うために、グループワークや各種ボランティアを取り入れている」。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。 なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。
ビジネス秘書・事務学科 シラバス一覧 <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a>

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。</li> <li>・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。</li> <li>・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。</li> <li>・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。</li> </ul>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p><b>【卒業条件】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 卒業年次の出席率90%以上</li> <li>② 成績評価が全科目C以上</li> <li>③ 卒業に必要な検定に合格</li> <li>④ 卒業に必要なCFPポイントの取得</li> </ol> <p><b>【進級条件】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 1年次の出席率90%以上</li> <li>② 成績評価が全科目C以上</li> <li>③ 進級に必要なCFPポイントの取得</li> </ol>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本人への電話連絡</li> <li>② 保護者との連携</li> <li>③ 三者面談</li> <li>④ 家庭訪問</li> <li>⑤ スクールカウンセラー</li> </ol>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (%)	19人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 金融業、卸売業、小売業、サービス業 など			
(就職指導内容) ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・全校生対象に就職活動出陣式の実施。 ・学科別就職活動強化合宿の実施。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 秘書技能検定準1級合格率 84.2%      ファイナンシャル・プランニング技能士3級合格率 80% MOS Word2013 合格率 100%      MOS Excel2013 Exprt1 合格率 90% MOS Excel2013 Exprt2 合格率 100%      MOS PowerPoint2013 合格率 100%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	1人	2.6%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	イベントビジネス学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,754 単位時間	534 単位 時間	78 単位 時間	1,142 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間
			1,754 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	47人	0人	5人	1人	6人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>本学科の目的は「イベントに関する知識、企画立案方法、広告制作の基礎知識などを学び、イベント会社、商店街振興組合および広告制作会社と連携を結び、インターネット等に参加により、イベントを企画・運営し、効果的な集客ができる知識と技術を身に付けることを目的とする」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>イベントビジネス学科 シラバス一覧  <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a></p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。</li> <li>成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。</li> <li>成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。</li> <li>出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。</li> </ul>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>【卒業条件】</p> <p>① 卒業年次の出席率 90%以上</p> <p>② 成績評価が全科目 C 以上</p> <p>③ 卒業に必要な検定に合格</p> <p>④ 卒業に必要な CFP ポイントの取得</p> <p>【進級条件】</p> <p>① 1 年次の出席率 90%以上</p> <p>② 成績評価が全科目 C 以上</p> <p>③ 進級に必要な CFP ポイントの取得</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡</p> <p>②保護者との連携</p> <p>③三者面談</p> <p>④家庭訪問</p> <p>⑤スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	0 人 ( 0%)	10 人 ( 100%)	0 人 ( 0%)
(主な就職、業界等)			
イベント企画・運営業、小売業、ホテル業、各種サービス業 など			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。</li> <li>・校内全職員による、項目別弱点強化指導。</li> <li>・全校生対象に就職活動出陣式の実施。</li> <li>・学科別就職活動強化合宿の実施。</li> <li>・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施</li> </ul>			
(主な学修成果 (資格・検定等) )			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント検定合格率 85.7% ・MOS Word2013 合格率 100%</li> <li>・MOS Excel2013 合格率 100% ・MOS PowerPoint2013 合格率 100%</li> <li>・全経 簿記検定 3 級 合格率 90%</li> </ul>			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学0名のため記載なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	事業創造学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,746 単位時間	1,035 単位時間	78 単位時間	633 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,746 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		29人	0人	4人	2人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>本学科の目的は「将来に起業することを目的として経営基礎知識の習得とマーケティング知識や各種コンピュータ技術、コミュニケーション技術の向上を目指す。また、実力を養うために実習を行い社会人基礎力の向上に努める」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>事業創造学科 シラバス一覧  <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a></p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は原則として科目毎に前期末(9月)、後期末(2月)の時点でそれぞれ1回の評価を行う。</li> <li>・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。</li> <li>・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。</li> <li>・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験(または追試課題)を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。</li> </ul>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>【卒業条件】</p> <p>① 卒業年次の出席率 90%以上</p> <p>② 成績評価が全科目 C 以上</p> <p>③ 卒業に必要な検定に合格</p> <p>④ 卒業に必要な CFP ポイントの取得</p> <p>【進級条件】</p> <p>① 1 年次の出席率 90%以上</p> <p>② 成績評価が全科目 C 以上</p> <p>③ 進級に必要な CFP ポイントの取得</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡</p> <p>②保護者との連携</p> <p>③三者面談</p> <p>④家庭訪問</p> <p>⑤スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5 人 (100%)	0 人 ( 0%)	5 人 ( 100%)	0 人 ( 0%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>Web サイト運営・不動産業、自動車販売業 など</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。</li> <li>・校内全職員による、項目別弱点強化指導。</li> <li>・全校生対象に就職活動出陣式の実施。</li> <li>・学科別就職活動強化合宿の実施。</li> <li>・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施</li> </ul>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営学検定合格率 20% ・MOS Word2013 合格率 80%</li> <li>・MOS Excel2013 合格率 87.5% ・MOS PowerPoint2013 合格率 70%</li> <li>・全経 簿記検定 3 級 合格率 60%</li> </ul>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	6人	30%
(中途退学の主な理由) 不登校による除籍、自主退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業事務		商業実務専門課程	医療事務学科	—	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	899単位時間	520 単位 時間	155 単位 時間	224 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間
			899 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		5人	0人	4人	3人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>本学科は、医療機関において活躍できる医療事務員を育成することを目的とする。医療秘書検定・医療事務管理士試験の学習で医療事務員としての専門知識の習得を図るとともに、接遇実習・病院実習を通して、現場に即した患者対応や、豊かな人間性、協調性を身に付ける。</p> <p>この目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォーに沿って作成を行っている。</p> <p>医療事務学科 シラバス一覧  <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a></p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は原則として科目毎に前期末(9月)、後期末(2月)の時点でそれぞれ1回の評価を行う。</li> <li>・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。</li> <li>・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。</li> <li>・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験(または追試課題)を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。</li> </ul>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>【卒業条件】</p> <p>① 卒業年次の出席率 90%以上</p> <p>② 成績評価が全科目 C 以上</p> <p>③ 卒業に必要な検定に合格</p> <p>④ 卒業に必要な CFP ポイントの取得</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>本人への電話連絡</p> <p>保護者との連携</p> <p>三者面談</p> <p>家庭訪問</p> <p>スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
医療機関、歯科医院、調剤薬局			
(就職指導内容)			
○就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。			
○校内全職員による、項目別弱点強化指導。			
○全校生対象に就職活動出陣式の実施。			
○学科別就職活動強化合宿の実施。			
○全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
医療事務技能管理士認定試験 医科 取得率 100%			
医療秘書技能検定試験 3級 取得率 100%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ビジネスライセンス学科	—	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間	969 単位時間	451 単位時間	78 単位時間	440 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			969 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10 人		4 人	0 人	6 人	0 人	6 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>本学科の目的は、簿記会計、税務などの知識を習得し、コンピュータ会計等の経理学習を取り入れることで、事務処理能力を備えた人材を育成している。また、目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>ビジネスライセンス学科 シラバス一覧  <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a></p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は原則として科目毎に前期末(9月)、後期末(2月)の時点でそれぞれ1回の評価を行う。</li> <li>・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。</li> <li>・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。</li> <li>・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験(または追試課題)を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。</li> </ul>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>【卒業条件】</p> <p>① 卒業年次の出席率 90%以上</p> <p>② 成績評価が全科目 C 以上</p> <p>③ 卒業に必要な検定に合格</p> <p>④ 卒業に必要な CFP ポイントの取得</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>① 本人への電話連絡</p> <p>② 保護者との連携</p> <p>③ 三者面談</p> <p>④ 家庭訪問</p> <p>⑤ スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100%)	0 人 ( 0%)	2 人 (33.3%)	4 人 ( 66.7%)
(主な就職、業界等) 製造業、サービス業 など			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。</li> <li>・校内全職員による、項目別弱点強化指導。</li> <li>・全校生対象に就職活動出陣式の実施。</li> <li>・学科別就職活動強化合宿の実施。</li> <li>・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施</li> </ul>			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) 本学科は、期中の学科変更を認めているため、当初在学者数より 1 名増えている。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)  
 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療秘書・事務学科	70,000 円	450,000 円	440,000 円	その他諸費用として約300,000 円を徴収
調剤薬局・登録販売者 学科	70,000 円	450,000 円	440,000 円	【現：調剤薬局・登録 販売者学科】 その他諸費用として約 290,000 円を徴収
販売スペシャリスト学科	70,000 円	450,000 円	440,000 円	その他諸費用として約 300,000 円を徴収
オフィスビジネス学科	70,000 円	470,000 円	440,000 円	その他諸費用として約 250,000 円を徴収
ビジネス秘書・事務学科	70,000 円	470,000 円	440,000 円	その他諸費用として約 250,000 円を徴収
イベントビジネス学科	70,000 円	470,000 円	440,000 円	その他諸費用として約 270,000 円を徴収
事業創造学科	70,000 円	450,000 円	260,000 円	その他諸費用として約 230,000 円を徴収
医療事務学科	70,000 円	450,000 円	440,000 円	【次年度廃止】
ビジネスライセンス学科	70,000 円	450,000 円	440,000 円	その他諸費用として約 330,000 円を徴収
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページ URL: <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>本校は教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努める。</p> <p>専修学校における学校評価ガイドラインを踏まえ、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学習成果、学生支援などの計10分野における自己評価を行っている。学校関係者評価委員会は、学科特性から税理士、小売業経営者、サービス業(イベント業)経営者、歯科医師から構成され、それぞれの見地から評価を受けている。その評価・指摘事項については、学校関係者評価報告書に記載して公表するとともに、学校としてその改善策を講じ、段階的に改善を目指す項目を除き、次年に向けて改善に取り組んでいる。本校の学校関係者評価委員数は4名で構成されている。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
Ar t 税理士法人	2019年4月1日～2021年3月31日	税理士
株式会社 フェージョonz	2019年4月1日～2021年3月31日	企業等委員(小売業・サービス業)
株式会社 新宣	2019年4月1日～2021年3月31日	企業等委員(サービス業・イベント業)
医療法人社団 阿賀歯科 阿賀町鹿瀬歯科診療所	2017年9月1日～2019年8月31日	企業等委員(医師)
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページ URL: <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページ URL: <a href="https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/">https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</a>
--